

「葛飾図書館友の会」第9回総会開催

## 図書館と来館者・区民を結ぶ生涯学習の場にする活動を推進 活動報告や方針などを承認し、新たなスタートを切る

葛飾図書館友の会の第9回総会を4月23日(土)午後2時から中央図書館会議室で開催しました。朝野会長の挨拶のあと、本年4月から新たに着任された鈴木中央図書館館長から「友の会のこれまでの支援・協力に感謝する。各委員会の活動は図書館にとって、なくてはならない存在である。今年は図書館事業として青戸・柴又・堀切地域に返却ポストを新設したり、サービス・カウンターの充実や区民の読書活動の一層の推進を図る」との祝辞をいただきました。

議長を選出したあと、平成27年度の総務、広報、ナイトシアター、児童サービス応援、CD・DVDコンサートの各委員会などの活動報告と会計及び監査報告が拍手で承認されました。またイベント及び展示企画の両委員会は実質的な活動が1年間なかったことや必要なメンバーが揃わなかったことにより廃止が正式決定されました。

今総会は2年任期の役員改選の年にあたり、右記の通り、新しく児童サービス応援委員長と会計監査1名が候補者になり、その他の委員はすべて留任する案が提出され、承認されました。

そして各委員長から平成28年度の活動方針(案)の説明を受け、さらに予算案が提案されたあと、審議の結果、すべて拍手で承認され、総会は午後3時までに終了しました。

会 長	朝野 熙彦
副 会 長	鶴岡 幸子 高橋 久郎
会 計	中里 隆二
会 計 監 査	飯泉 孝 加藤まさ江
総 務 委 員 長	福部 國弘
広 報 委 員 長	阿部 京子
ナイトシアター 委員長	加藤 和也
児童サービス 応援委員長	岸本 節子
CD・D V D コンサート委員長	高橋 久郎

総会終了後

## 今年も盛況だった「ライブラリーカフェ」 新たに入会され、活動を開始された方々も

総会終了後、会員を問わず呼びかけた「ライブラリーカフェ」を今年も開催しました。冒頭、プロジェクターを使用した会長による「友の会」の歴史やこれまでの活動などの説明がありました。そして友の会を担当していただいている図書館職員の方々を含め、30名を超える参加を得て、4つのテーマに分かれ、それぞれのコーナーを開店しました。予想を上回る参加者が約2時間、ペットボトルのコーヒーなどを飲みながら語り合ったり、館内作業を初体験しました。その後、新たに「友の会」に入会され、既に活動を開始されている方々もいらっしゃいます。終了後は近くの居酒屋で懇親会を開催しました。



# ライブラリーカフェ Talk Menu



- メニュー 1 新しいアイデア発掘隊
- メニュー 2 真田家の父と子
- メニュー 3 声を出して読む「天声人語」
- メニュー 4 初体験！ 中央図書館内の書架整理と図書の手入れ



## メニュー1 新しいアイデア発掘隊

### 活動の情報発信が重要

約70人のすべての会員が友の会の活動に参加してもらえるよう、アイデアを伺いたくライブラリーカフェを開店しました。

まだ活動をしたことがない会員お二人に、その理由を伺いましたところ、総会まで活動内容を知らなかったということでした。友の会では「たんしん」という通信で、各委員会の日々の活動をお知らせしています。「たんしん」は新メンバーへの参加呼び掛けでもあります。活動への参加は1年じゅういつでもウェルカムですので、ぜひ気軽にそして思い切って各委員会に顔を出していただきたくお願いします。特筆すべき出来事は今回のカフェをきっかけに、新会員をお迎えすることができたことです。そういう意味で1号店は予想以上の大成功を収めたといえましょう。(店主 朝野熙彦)



## メニュー2 真田家の父と子

### 視聴者の反応は？ 《真田丸》の場合



NHKの大河ドラマ、《真田丸》がスタートして4月24日に第16回「裏表」がおわりました。最近の高視聴率(ビデオリサーチ調べ18%台)は配役(主役の堺雅人ほか)が、当を得たのか皆さんなかなか好評でした。しかし、テレビの方はややだれ気味で、これからどうなる？というところで意見が一致しました。

#### ◇題名の『真田丸』の『丸』は、どういう意味？

だれ気味の原因は『真田丸』の『丸』にあるかと思い、調べたところ、〈球形〉という意味のほか〈城郭の内部〉、〈正しいこと〉ほかいくつもあるなかに〈名刀の名〉というものがありました。これだと思い、きょうの表題『真田丸の父と子』は〈名刀ぞろい〉ということを力説、その切れ味とともに名刀、妖刀、剛刀など人間の心の底にひそむ、鍛えられた真田兄弟各自の精神の本音をさぐることにしました。

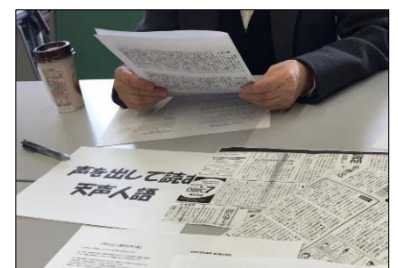
#### ◇なぜ信繁(幸村)は、最後の最後まで家康を狙ったか？

番組を視聴すればわかることですが、以前放映された『真田太平記』では「おこう」という女忍者への隠れた愛のためと思われるのですが、今回は豊臣秀吉の側室、茶々への秘めた愛のためか？皆さんの意見もさまざまあり、楽しい集まりでした。(店主 高橋久郎)

## メニュー3 声を出して読む「天声人語」

### 音読が前頭葉を活性化するという説もあるらしい

毎日読んでいる新聞。それを声を出して読んでみようという企画。1週間分の「天声人語」を参加者で順番に読んでいきました。普段は読み飛ばしてしまうような表現の妙が分かったり、黙読では味わえない感覚でした。小説の朗読とは違い、上手に読もうとか、感情を入れて読もうとするのではなくシンプルに声を出すのが楽しい体験となりました。「天声人語」だけでなく、「サンケイ抄」や日経の「春秋」も読み、新聞社によって文体や考え方の違いがあることも再確認しました。毎日の暮らしの中で簡単にできることですが、声を出すということは体にもよいし、いつもと違った脳の感覚で参加者一同、意外に楽しかったという感想となりました。



(店主 阿部京子)



## メニュー4 初体験！ 中央図書館内の書架整理と図書の清掃 意外と難しい返却本の書棚戻し！

図書館の職員からまず配架についての説明があり、館内へ移動して2グループに分かれて作業開始。半数は図書清掃をまず担当。返却されてきた本の表紙や裏表紙にスプレーで薬品を吹きかけ、タオルで汚れを拭き取る作業。新本もどきになり、キレイになったとの感想。一方は今回初めての経験。分類番号と著者記号からなるシールに記載された請求番号を読み解き、正しかるべき書棚へ戻すという作業。途中、交代したが、両作業とも、皆さん、意外に力仕事だ、難しい、疲れたとの声も上がりましたが、総じて面白い体験だったようでした。  
(店主 中里隆二)



## 中央図書館鈴木新館長に聞く

「まずは職員や関係者の顔を覚えることから・・・」  
“区内の図書館の特色と地域性をもっと示したい”との抱負も



6月1日、4月から中央図書館に着任された鈴木誠新館長に広報委員会がインタビューをしました。

鈴木館長はこれまで南綾瀬の出張所を皮切りに、納税・年金・土木・都市計画・区画整理などの分野やテクノプラザでの地域振興関係の仕事、高砂の区民事務所など、ほぼ4年毎の異動を経験してきたそうです。その経歴の中には白鳥にある23区でも異色な施設「郷土と天文の博物館」に9年間携わったとのこと。定年まであと3年（ということは…）、中央図書館長に就任すると知ったときは別に動揺（？）はなかったが、それまで区内の図書館を利用したことはほとんどなかったそうです。

まだ着任2ヶ月足らずで、毎日が試行錯誤の日々の連続なような印象を受けましたが、そこは区内図書館を統括する中央館長、既に12の施設はすべて見てきたと話され、今後は各図書館の特色や地域性をどのように表現していくのか、それが課題ではないかとも。また勤務形態の特殊性から、意外に多いと思った職員や図書館で業務をされている人たちの顔を覚えていくのが当面の悩みのようなものでした。それは館長業務には良好な人間関係を築くのが一番大切という考えからと述べられました。

ご家族は息子さんが独立し、ご夫婦だけ。趣味は街歩きと絵画鑑賞とか。東山魁夷の絵が大好き、ただし和洋問わずと楽しそうに話されたのが印象的。川口から1時間の通勤で、今は前館長から言われた図書館業務に関する本を読み込み中で、本当は時事関係の本の方が…、とも話されました。

毎月1日の休館と特別整理期間以外は年中無休で、しかも閉館時間も遅い中央図書館の館長は大変ですよ、正月も「かるた会」に顔を出していただかなきゃ、しかし利用者からはとてもいい図書館だとの声も多いですと、そして無事館長で定年をお迎えになられるようにと、脅迫と激励のインタビューに笑顔で、ご多忙の中、30分付き合ってくださいました。

葛飾 友の会

検索



クリックで葛飾図書館友の会HPへ

アドレス：katsutomo.jimdo.co

## 児童サービス応援委員会「おはなしくらぶ」

# ろうそくの光のなかで繰り広げられる「おはなし会」

5月7日土曜日の午後3時30分から開催された「おはなし会」にお邪魔しました。中央図書館児童コーナーにある「おはなしのへや」には靴を脱いで入ります。はじまりますよ～の声で多くの子どもたちとパパとママでいっぱいになります。おはなし会は“おはなしのへやのろうそく”に火をつけて開始。最初は暗い部屋でろうそくの光の中で語られるおはなし『ふしぎなたいこ』。真っ暗なので、最初のおはなしは大きな子だけで聞きます。



このおはなしが終わると、部屋を明るくして小さいお子さんも入場。大型絵本『999ひきのきょうだいのおひっこし』が始まりました。絵本の読み聞かせに子どもたちが夢中な様子は、図書館っていいなと感じる光景でした。パパやママたちも床に座って聞き入っていました。『きゃべつのなかから』という手あそびはママやパパたちも一緒に参加。久しぶりにたくさんの人と声を出しての手あそび、なんだかとっても楽しい気分になります。

絵本の読み聞かせは『これはなみだ?』『アボカド・ベイビー』『ことりをすきになった山』と、いろいろな年齢の子たちが楽しめるラインナップ。最後に“おはなしのへやのろうそく”を消しておはなし会はおしまい。その月のお誕生日の子に吹き消してもらいます。

ろうそくの灯という演出で、子どもたちの心を物語の世界に誘う素敵な土曜の午後。読み聞かせ、素話、手あそび、どれもとても巧みで、たくさん練習された成果だと感じました。

子どもたちは「おはなし会カード」を持っていて、おはなし会終了後にスタンプを押してもらっていました。これはおはなし会に来るのが楽しみになりますね。

お子さん、お孫さんを連れて第1土曜日の午後「おはなし会」へ参加してみませんか？  
(広報委員 阿部)



## ☆☆☆☆☆☆ 「葛飾図書館友の会」で一緒に活動しませんか！ ☆☆☆☆☆☆

『友の会』は多くの会員によって活動しています。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご入会いただいて、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？ 原則として第3土曜日の午後1時から4時まで中央図書館内で、また友の会の開催イベント時でも直接の入会受付を行っていますので、是非ご利用ください。年会費は一般会員1,000円、賛助会員は1口2,000円です。上記の方法が利用できない場合、入会希望者は中央図書館に入会届をご提出の上、年会費を右記の口座に納入してください。図書館での年会費の直接納入はできません。「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、28年度年会費とご記入下さい。また1口500円の寄付も大歓迎です。払込手数料は窓口では130円、ATMからでは80円です。恐れ入りますが、ご負担をお願いいたします。

ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

入会届はHP (<http://katsutomo.jimdo.com/>) からダウンロードできます。

お問合わせ先：中央図書館友の会担当者(打越さん、吉村さん、白井さん、川井さん) TEL 03-3607-9201

「虎は死して皮をとどめ、人は死して名を残す」とは古人の戒めだが、はて自分は？と考える時まさに「名もなく、清くもなく…」と考えて資産も名誉もなく…と考える谷川晃一さん(画家から、句集2冊が送られてきた。谷川さんは伊豆高原で(アートフェスティバル)というクリエイティブな技と心を持つひとびとを結集した集いを、毎年五月に開催し、今年で24回、85の大規模なギャラリを伊豆高原に出現させ、だれでもその戸を叩くことができる不思議な空間を花咲かせてきた▼先日電話でのやりとりの折、彼から「近ごろは天真爛漫、無心に生き似つかぬものを作って」という話を伺い、ぜひその作品？を見たいとお願ひすると直ぐに句集が届けられた▼表題は『地名傷』という。ワクワクしながらページをめくると『ハンペン』を二つに切つては『股倉にチャック噛みつくカムチャッカ』である▼戦後の若き抽象画家のなかで、鋭い論評を展開してきた戦士の晩年とはなにかを思い、うれしく笑ってしまった▼笑うことによつて心も体も次第次第にほぐれてきて、近ごろは人を笑わせ、みずから笑いにひたることを念ずることにつとめている。最後に読者の失笑を願つて私の一句「猪鹿のチョーひらひらと葛飾に」を。(高橋広報委員)

色えんぴつ